

2017 TOYOPET SL KART MEETING 全国大会

Festika Circuit MIZUNAMI

TOYOPET

BRIDGESTONE

DUNLOP

YOKOHAMA

YAMAHA

SLO



FESTIKA
CIRCUIT MIZUNAMI

ブリーフィング資料

本資料は、本コースにおける注意事項とその他、特に留意いただきたい事項を抜粋しています。
今大会競技に関係する規則書とあわせ、十分にご確認ください。

【ダミーグリッド・ピットエリア】

- 1) 公式練習、タイムトライアル、予選、プレファイナルは、全クラス、ダミーグリッドよりスタートします。
- 2) ダミーグリッドエリアは公式通知で示され、公式のタイムスケジュールまでに入場してください。
指定時間でスタートします。 **注)** 時間に遅れた場合は、出走できないこともあります
また、ダミーグリッドには工具類は一切持ち込めず、工具を使った整備作業も禁止されます。
工具を使った整備作業をする場合は、必ずピットエリアで整備作業をお願いします。
作業中の選手がいても、レースは準備が出来次第スタートします。
※SL 車両規則で認められたクラッチのみ使用の選手は、グリッドで外部スターターを使えます
- 3) エンジンの始動チェックは、4本のタイヤが地面に接地している状態で、ダミーグリッドでのみ行えます。
注) パドックやテント内では、エンジンの暖気や、エンジンの空吹き禁止となります。

【スタート時、フォーメーション時、その他の注意事項】

- 4) タイムトライアル時、位置取りのために急激な減速、前方からの後退を繰り返す行為はペナルティの対象となります。また、減速をして後方のカートにラインを譲る場合は、レコードラインを開け、手で追い抜く側をしっかりと示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。
- 5) スタートの合図が出る前に、約1周のフォーメーションラップを行います。
隊列はスタートライン手前25m位置に引かれたイエローラインを超えるまで加速してはなりません。
ホームストレート上には、2列の隊列をイン側、アウト側に誘導する目印の白線がありますのでその線の中を走行してください。 **注)** 誘導線から車体半分以上出るとペナルティとなります
- 6) ローリングラップ中、隊列復帰禁止区間に進入した後の追い越し、または、ポジション復帰は違反行為になり、当該ヒート失格になります。また、フォーメーション走行中の適度なヒーティングは認めますが、2列の隊列を形成してからのヒーティングはペナルティの対象となります。
注) 隊列復帰禁止区間は、⑪コーナー進入口に設置された両側の赤パイロンを結んだ赤い線上からスタートラインまでとなります
- 7) ローリングラップ中の隊列の先頭車両が、⑪コーナー進入の赤パイロンに差しかかった時点で、ピットロードをクローズします。その時、ピットエリアにいる車両はスタートできません。
- 8) ローリングラップ開始からレーススタートまでは、ピットエリアの白線を超えてピットサインを出すことを危険防止のため禁止します。
- 9) レース中、接触やコースアウト、その他のトラブルでエンジンが停止した時、迅速に再スタートが出来ない場合や、再スタートが無理と判断された場合、ドライバーを避難させ、車両はコースから排除します。
- 10) 競技中、急な天候変化によって、使用タイヤをコントロールすることになった場合、審査委員会、競技委員で協議し、タイヤ交換が円滑に行えるよう公式のタイムスケジュールを変更し発表します。
- 11) ローリングラップ途中、自分のグリッドに戻れない車両がいても、競技委員の判断でそのままスタートを

切ることがあります。その場合、グリッドが著しく乱れていた場合は、さらにもう1週の合図が出て、再度ローリングラップが継続されます。正しいグリッドから外れていた車両は、正規の位置に戻る権利が再度発生しますが、**白地に赤×ボード**が提示された場合は、戻ることができません。

12) コース内での再スタートは、後続からの車両を確認し、安全を考慮し再スタートしてください。再スタートする場所がライン上や危険な箇所、後方からの接触を招く行為はペナルティとなります。

13) 雨天時、雨の量が多く、2列でのスタートが危険と判断された場合、グリッド表の隊列ではなく、ポールポジション車両を先頭に1列のフォーメーションでローリングラップを行います

注) 1列のままコントロールラインを越えてのスタートと同時に追い抜きが可能となります。

その場合、カートはホームストレートのアウト側に引いてある誘導白線を目標として走行します。

14) リタイアの場合、所定の「リタイア届」にエントラント・ドライバーの署名をし、リタイアするヒート20分前までに、大会事務局に必ず提出してください。 **注)** 20分前までに届が受理された場合、次ヒートのグリッドが変更になり改訂版が発表されますが、時間を過ぎた場合、グリッドは改訂されず、出走しないグリッドは空席となります [総当たり戦時は、空席扱いになりグリッドは詰めません]

【信号旗】

15) 競技中、白黒旗は対象者に積極的に提示されます。継続した違反行為に関しては黒旗の対象となります。

16) 全ての競技旗は、基本コントロールライン（メインポスト）進行方向右側で提示しますが、

④コーナーポストやバックストレート側（サブポスト）でも競技フラッグを提示します。

全ポストで提示する競技旗

1, 黄旗、2, 赤旗、3, 青旗

サブポストで提示する競技旗

1, 白黒旗（メインポストでも提示）
2, 白地に赤バツテンボード
3, オレンジボール
4, 警告ボード

④コーナーで提示する競技旗

1, ミススタート旗

メインポストのみで提示する競技旗

1, チェッカー旗
2, 黒旗
3, 白黒旗
4, 警告ボード

【警告ボード・その他の提示ボード】

17) 競技中に、軽度なプッシングや幅寄せ等が確認出来た場合、その対象車両に警告ボードを提示します。対象者は、その行為を改め、スポーツマンらしいレースを行ってください。

悪質な走行行為は、全てジャッジの対象となり、ペナルティを課せられます。

18) ローリングラップのスピードが整っていない場合、ペースダウンボード、ペースアップボード、ペースキープボードが先頭集団に提示されます。

全ての車両は、スピード調整をし、円滑なスタートをしてください。

【車両の回収】

19) ヒート中に停止した車両の移動に対しては、オフィシャルコース員も行いますが、ドライバーも移動回収を手伝ってください。 **注)** 当該ドライバーのメカニックの方は、迅速に引き継ぎ回収お願いします

【車検・重量検査・パルクフェルメ】

20) 競技終了後の車両検査は技術委員長の指定箇所で実施します。 **注)** その場所は公式通知で提示します。パルクフェルメに入れるのは、ドライバー、登録ピットクルー（メカニック）、エントラントのみで工具は持ち込めません。カートスタンドの持ち込みは許可されます。